

建物の地震損傷モニタリングシステム

豊橋技術科学大学 教授・齊藤大樹 助教・林和宏

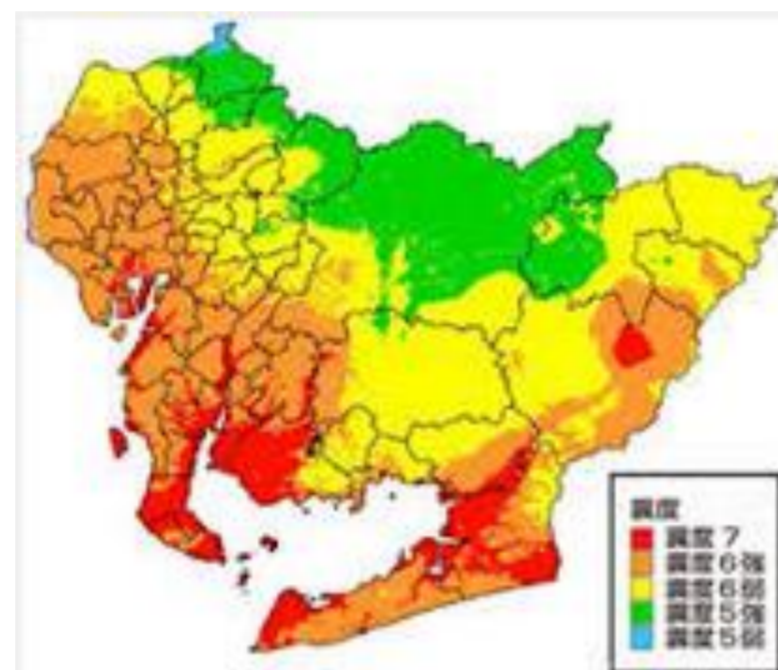
研究概要

市役所や消防署など、災害時に地域の拠点となるべき建物について、地震後即座にその損傷を評価するモニタリングシステムを開発・実装しています。建物に設置するIT強震計は、リアルタイムに振動の記録をインターネットクラウドにアップロードします。我々が開発するシステムは、アップロードされた振動のデータから、建物の損傷部位や程度を評価し、地震後の継続使用が可能かを判定します。

■ 2016熊本地震の教訓



■ 南海トラフ地震に対する備え

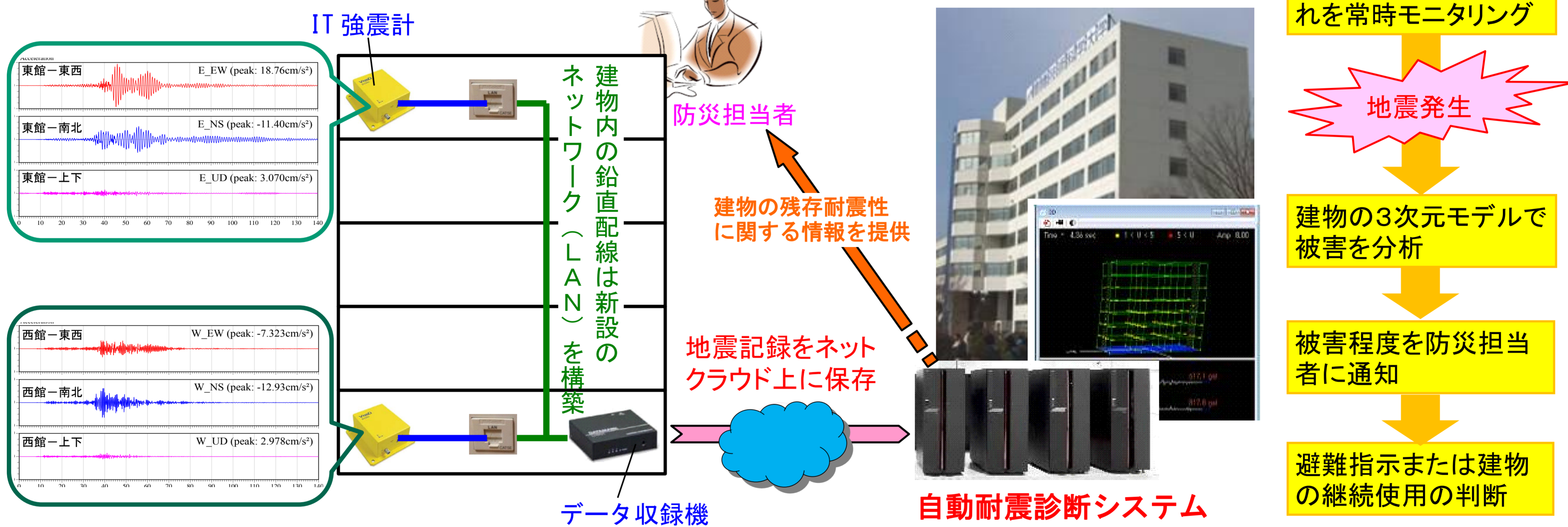


■ 豊橋市役所等へのシステム導入



防災拠点施設

豊橋技術科学大学



FEATURE

- 建物のリアルタイム地震損傷評価システムを構築
- 東三河地域を対象に提案システムを配備
- システム運用を中核とした地域防災体制の構築



技術を究め、技術を創る
国立大学法人
豊橋技術科学大学

